
所有者の権限

山田ぽぽろ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
所有者の権限

【Nコード】
N5113L

【作者名】
山田ぽぽろ

【あらすじ】
愛の形。
愛の終わり。

終焉は所有者の権限を行使して。

この裏切りものめ。

「こんなつもりじゃなかったの」

何に對しての謝罪なのかよく分からないまま、わたしは座り込んでいた。

心が痛くて、涙が熱くて、喉が痛くて。

けれど、それ以上に世界は冷たく硬い。

唇に乗せて、浮いた悲鳴が、跡形も無くぼたぼたと腐り墮ちる音が聞こえた。

触れた瞼は、まだ柔らかい。

「ねえ、違うんでしょ。嘘なんでしょ。全部、全部、ぜんぶ」

何が。決まっている。全てだ。

愛しているが、哀しているに変わり、すぐに穢しているに変わったなんて、とうの昔に気づいていたのに、気づかないふりをしていたことが、そんなにも罪だったと言うのだろうか。

甘い夢。辛い指。暖かい肌。冷たい眼。

縫りついた体の厚みは、まだわたしに時の流れを知らせたけれど、喪ったものよりも得たものの法が多かったと、ずっと信じていたのに。

この裏切りものめ。

「すき、って言ったじゃないの。わたしに、何度も言ったじゃない」

だからわたしは、あなたを愛していたのに。わたしの所有物になつてくれると思ったから、なつてくれると言ったから。

わたしはあなたを心の底から愛していたのに。

あなたが欲した体だって、わたしはちゃんと捧げたのに。

何がそんなに不満だったというの？

答えなさいよ、この屑が。

「ちょっと、腕をもらっただけなのに」

だって、他の女の匂いがしたんだもの。

わたしの所有物なのに、わたし以外の所有印をつけているから。

だから、ちょっとだけ、もらっただけなのに。

他の女を抱けないように、ちょっとだけ。

なのに、そんなに怒ることないじゃない。

殺そうとすること、ないじゃない。

「好きなのに」

好きなのに

「愛しているのに」

哀しているのに

「どうして、勝手に死んだりするのよ」

ちょっと、後頭部あたまを殴ったくらいで。

「目を開けて」

勝手に死ぬなんて、許さない。

わたしの所有物なのに。

自由になれた、
なんて。

嬉しそうに死ぬなんて、許さない。

だって、わたしは、あなたを、

所有^{あい}してるんだから。

「許さない」

——何を？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5113/>

所有者の権限

2011年3月3日08時05分発行